

町政を問う

中山間地域振興施策が重要だ



渡部 勇

担い手不足の解消施策を

町長 中山間地域振興策はどれも重要

渡部 県は中山間地域振興協議会を置いているが伯耆町はどのように連携し、協力しているか。

担当課長 二部地区活性化協議会と日光地区協議会から委員を出している。また、今年度から町からも委員が出ている。

渡部 条例の制定理由として、森林の荒廃、耕作放棄地の増加、生活交通機能の縮小、買い物困難地域の拡大等、と述べてあるが町長はどれが重要施策と考えられるか。

町長 どれも重要で、地域の特産物づくりとか、本町でも代表的な事例が育ってきていますが、そういうものを組み合わせると中山間地域で元気な事例が広がりを持つのが中山間地域対策の理想である。

地区公園整備を

渡部 大寺・殿河内・田園町・みどり団地に公園が無く、そのゾーンに地区公園を整備してはどうか。

町長 地域の地区公園というのであれば、既存の制度を利用したうえで地域の合意形成に委ねられると思う。

渡部 認識にずれがあり、地区公園ではなく公園法にある、街区公園のような公園整備はできないものか。

町長 本町は町全体が公園である、自然豊かな所で公園という名目で必要なのか、よくよく考えないといけないと思う。

渡部 旧こしき保育所の広場に遊具があり、現在使用できない、坂長・

スカイタウン地区の方が利用されると思うが、整備する考えは。

町長 当面は現状のまま、今後公園の整備について、検討していない。

「学び合い」学習教育を導入へ

渡部 全国学力テストの結果、小学六年生の理数において平均点が下回り、県教委は「危機感を持っている」と述べているが、教育長はどのような課題があると考えておられるか。

教育長 小学六年生については、今年度は県平均より若干下回る結果がでたが、中学三年生については県平均より上回ったが教育委員会としては、平均点に一喜一憂することとはなく、家庭と協力し

ながら指導する。

伯耆町主催の金婚祝賀式の復活は

渡部 旧西町として三年間は祝賀会があったが、その後、廃止となったよ

うである。もう一度、金婚祝賀式を復活させてはどうか。

町長 祝賀会を取りやめられた、当時の判断を覆す材料、強い理由がない。



中山間地域の状況